



知事年頭あいさつ

福岡県知事 小川 洋



新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人福岡県浄化槽協会会員の皆さんには、日ごろから浄化槽の適正な維持管理の確保やその普及啓発を通じて、県民の健康で快適な生活環境の確保に格別のご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

また、熊本地震の折には、貴協会会員や職員の皆さんにおかれましても、復興支援にご尽力されたことに対して、深く敬意を表します。

本県の人口は、国勢調査の結果、全国第9位の510万1,556人、昭和45年の調査から増え続けています。

知事就任以来実施している「県民意識調査」では、「この県に生まれてよかった。生活してよかった」と感じている方が初めて8割を超えるました。

今年は、熊本地震の復興を全力で支援し、福岡県、九州をもっと元気にする年にしたい、とりわけ、7月の「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録を実現し、10月の「全国豊かな海づくり大会」を成功させ、福岡県の魅力と元気の良さを国内外に発信したいと思います。

そして、「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して、新たな総合計画を策定し、福岡県をもっと元気にする施策はさらに伸ばしていく、いろいろな課題や問題を抱えている方々に寄り添う、温かみのある行政に力を入れていきます。

浄化槽は、短期間かつ省スペースでの設置が可能であるとともに、災害に強いという特長を持っており、汚水処理施設早期整備の必要性の観点から、また、中山間部など人口分散地域における経済効率性の観点から、その普及が期待されています。

一方、浄化槽の処理機能が十分に発揮されるためには、清掃・保守点検・法定検査といった適正な維持管理が不可欠であることから、皆さまの役割は極めて重要です。

県では、持続的な汚水処理システムの構築を進めるため、「福岡県汚水処理構想」の見直し作業を進めているところです。今年度末をめどに、本県の実情を反映し、経済性や人口動向を見据えた新たな汚水処理構想を策定する予定であり、新たな構想の下、浄化槽の整備を着実に進めてまいりたいと考えています。

今後とも、浄化槽にかかる普及・啓発につきまして、関係者の皆さんの一層のご尽力をお願いします。

今年は酉年です。県民の皆さんのがそれぞれ個性や能力を活かして、地域、学校、職場などで生き生きと「翔き」、活躍する、そして福岡県、九州、日本が元気に「翔く」年にしたいと考えています。

新年が皆さんにとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

事業報告

普及啓発
福岡県国際環境人材育成研修に協力

福岡県では、平成18年度からアジア諸地域において環境施策を担う中核行政官を招聘し、環境分野における人材育成研修を実施しています。

今年度も、アセアン諸国及びインドの環境分野に関わる中核行政官を対象とした「アセアン・インド環境管理コース」が開催されました。

福岡県から標記研修の実施に係る協力依頼があったことから、11月14日(月)、浄化槽の現地研修に講師として当協会の職員を派遣しました。

当日は、天候には恵まれませんでしたが、研修生は自國にない汚水処理システムである浄化槽を熱心に見学されていました。

なお、今回の研修にあたって、当該浄化槽の維持管理を実施している(有)ほなみ環境衛生工業様(飯塚市)のご協力を頂きました。



研修のようす